

平成30年度 山形県農林水産技術会議における検討事項

1 検討事項

「農業総合研究センター園芸試験場における研究開発の方向性について」

2 趣旨

農業総合研究センター園芸試験場は、これまで県内の園芸産地を支える多くのブランド品種や先駆的な技術の開発を行ってきた。今後も時代や社会ニーズに対応した研究課題を設定し、本県の園芸農業の発展に寄与する技術開発の中核を担っていく必要がある、その研究開発の方向性については、平成25年度の本会議において意見をいただいたところである。

この方向性に基づき、現在、園芸試験場では、地方創生拠点整備交付金を活用して附帯施設の整備を進めているところであるが、この間、温暖化対応ビジョンの改訂や研究開発方針の策定など研究開発に係る新たな動きが生じていることに加えて、研究管理施設の整備についても予定している。

こうした現在の園芸試験場の整備状況を踏まえ、25年度に整理した内容を発展させて、今後さらに取組むべき研究開発の方向性を整理する。

3 スケジュール（案）

- (1) 平成30年11月27日（火） 第1回農林水産技術会議（会場：私学会館）
 - ・試験研究機関の整備状況について（報告）
 - ・園芸試験場における研究開発の方向性について（考え方）
 - ・意見交換

- (2) 平成31年1月下旬～2月 第2回農林水産技術会議
 - ・奨励品種等の審議
 - ・園芸試験場における研究開発の方向性及び次年度取組予定の課題について
 - ・研究開発方針に基づく、次年度取組予定の課題について
 - ・意見交換